琉球大学学術リポジトリ

会長就任にあたって

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 照屋, 輝一 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017589

会長就任にあたって

照　屋　輝　一

沖縄県工業技術センター

我が国経済は戦後最悪といわれる景気低迷の中にあり、国は産業再生を目指す施策として平成１１年２月「新事業創出法」を施行し、地域の産業資源を活用しつつ地域をあげて新事業創出に取り組むことにより、地域経済の自立的発展をめざすことが、当該地域はもとより我が国経済の再生を図る上でも、喫緊の課題であるとしております。

沖縄には、２１世紀の大市場であります中国や東南アジアとアクセスするに有利な資源や環境、文化などの地域特性、いわゆる“南方資源”がございます。“資源は南から技術は北から”とも申します。そのような視点から、我が国が保有する技術や技術力を南方資源の利用へと結合することで、我が国の新たな産業の展開につながるものと確信しております。この度出された“沖縄経済振興２１世紀プラン（中間報告）”においても『亜熱帯研究の総合的推進』が重要な施策として提示されております。

本研究会は、まさにそのことを先取りした形で、「熱帯・亜熱帯における資源を有効に利用する技術の開発と発達を図る」ことを目的に１９８１（昭和５６）年１２月に設立され満１８年目を迎えようとしております。この間、國府田佳弘、当山清善、森川豊、安田正昭歴代会長のご指導のもとに、熱帯・亜熱帯の生物資源をはじめ、海洋資源、鉱物資源、自然エネルギー等の利用技術を中心とする研究発表や特別講演など多彩な活動が展開され、沖縄の地理的、資源的特性に立脚した我が国における南方資源利用技術の拠点として、技術の集積、交流の促進、人材の育成等々と重要な役割を果たしてまいりました。

本研究会にはローカルには沖縄地域の産業振興のために、グローバルには我が国並びに熱帯・亜熱帯地域の産業及び社会システムの高度化を推進していく上で、重要な意義と役割を有し、そのことは２１世紀を迎えようとしている今日ますます大きなものとなり、より一層の強力な活動に大きな期待が寄せられております。

このような重要な時期に、官からのという強い要請により伝統ある本会の会長に推挙され、その責任の重大さを痛感しているところでございます。もとより浅学非才、微力ではございますが全力を尽くして本研究会の発展のために努力いたす覚悟でございますので、諸先輩方のご指導、会員各位のご協力を心からお願い申し上げる次第であります。